

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011 年 9 月 10 日(土) 中村泰雄

日付: 2011 年 9 月 10 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



第一回SON埼玉陸上競技会は二週間後に迫りました。今日の川口陸上プログラムは、それ以前に開かれる最後のプログラムです。その意味でプログラムは多くの場面で競技会を意識したものとなりました。

先ず配布プリントでは国道463号から会場のしらこぼと運動公園競技場に向かう細くて真っ直ぐな道を取り上げました。車で会場に向かう人の多くがこの道を通り『何だ、この道は』と思う筈です。

実は先の大戦中、此処には軍の飛行場が建設され、この道はその飛行場の滑走路だったのです。近くには軍用機を隠しておく隠蔽格納庫や燃料や爆弾の貯蔵庫も作られました。

プリントでは滑走路跡の道の写真を載せ、こんな話↑を書きました。そしてこの地域を話題にしてもらい、九月二十四日をより増して楽しみにしてもらおう、そんなことを考えています。

立ち上がりのウオーキングのターゲットには前回のプログラムの時に見たイヌエンジュの隣で青い実をつけている樹を選びました。競技会との繋がりはありませんが、前回のプログラムとは繋がっています。(笑い)

準備運動が始まると、例によって私は植物観察の現場に先行してウオーキングの集団を待ちました。やがて集団の到着です。先頭は大坂PC。続いてK君、S君などが5～6メートルの間隔で次々に到着します。アスリートの大半が到着したところで質問しました。質問は二問。

問一:『あの子はだあれ』と云う童謡を知っていますか？

問二: 目の前の樹の名前は何かですか？

問1に『知っている』と答えたのは大坂PCだけでしたが、お母さんの何人かが声を揃えて歌いだしました。其処で大慌てで問2を出しました。何故って問2の答えは問1の童謡の歌詞の中に有るからです。

お分かりでしょう。今日見たのはナツメの樹でした。私は童謡の一番が終わるのを待って茶道具のなつめの話や菓子の話、生薬としての効能の話などを手短かにしてウオーキングを再開してもらいました。

ウオーキングの後は何時も通りに二千メートルを走り、その後は種目別に分かれ、短距離グループは前回のプログラムで問題点が明確になったNちゃんのスタートとKJ君のバトンパスの修正に取り組みました。

大坂PCの協力を得て一時間弱の取り組みの結果、Nちゃんは号砲と同時に第一歩を踏み出せるようになりました。未だダッシュは甘いのですが大きな一歩です。

KJ君の問題はバトンを受け取るまで走り出せないと言う問題ですが、今日の段階でバトンを受け取る瞬間に走り出そうと云う雰囲気だけは見せるようになりましたが、問題解決の糸口が見付からないまま十一時半、競技会前最後の川口陸上プログラムは"Let's Go SONS"となりました。

中 村 泰 雄

注: 一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。